

会 議 概 要

会 議 の 名 称	第7回 湧別町庁舎等検討委員会
開 催 日 時	令和4年12月20日(火) 19時00分 開会 20時10分 閉会
開 催 場 所	上湧別コミュニティセンター 2階大会議室
出 席 者 名	委 員：岩佐委員長、高橋副委員長、長谷川委員、樋口委員、 竹部委員、野津委員、毛利委員、吉村委員、橋本委員、 楨委員 町：企画財政課 斉藤未来づくり担当課長、渡辺主幹 建設課 宇佐美主幹 事務局：総務課 石塚課長、中川主幹、榎本主事
欠 席 者 名	なし
傍 聴 人 の 数	6名
会 議 の 内 容	1 開会 2 委員長あいさつ 3 審議 (1) 第6回 庁舎等検討委員会開催結果の確認 (2) 答申(案)について (3) その他 4 閉会
会 議 資 料	別紙のとおり
会 議 録	■ 有 (□全文筆記 ■要点筆記) □ 無
備 考	

会 議 録

結果要旨

(1) 開 会

(2) 委員長あいさつ

(3) 審 議

①第6回 庁舎等検討委員会開催結果の確認について（総務課・中川主幹）

○前回委員会における協議内容について説明。

○まちづくり懇談会において、庁舎等検討委員会における検討状況を報告したところ、町民から「既存施設を活用し現状を維持してはどうか。」という意見があったため、答申の作成に向けて委員会の意見としては、既存施設を活用し現状を維持するのではなく、庁舎を新築し集約化を図ることであることを確認。

○まちづくり懇談会で出た意見・質問を紹介。

- ・50センチ程度の津波で湧別庁舎を除外する必要はないのではないか。
- ・消防上湧別出張所に移転してもらい、消防出張所のスペースを改修し庁舎として活用できないか。
- ・中湧別中町にある100年記念公園の運動（サッカー）場に庁舎を新築し、中湧別小学校のグラウンドに運動場を移設してはどうか。
- ・現庁舎はまだ使用できることから、これからも使用してはどうか。
- ・改修をするのではなく、新築をする方が良い。
- ・庁舎新築に向けて基金を積み立てていないのか。
- ・現時点の状況を町民に説明する予定はないのか。

○答申（案）の内容を説明。

②答申（案）について

【意見・質疑等】

○答申案の「老人憩の家を含む周辺の町有地、又は、上湧別地区義務教育学校開校後に閉校となる中湧別小学校跡地に建設を望むものです。」となっているが、委員会内では中湧別小学校跡地に建設を望む意見が多かったと思っており、順番を変えてはどうか。

○基本的によくまとめられていてよいと思う。

○複数案を提示するまとめ方について、委員会の中でも当初異論があったように、議員や町民の方々もなぜと思うかもしれないので、複数案にした理由を補足した

方がよいのではないか。

○答申案の「老人憩の家を含む周辺の町有地、又は、上湧別地区義務教育学校開校後に閉校となる中湧別小学校跡地に建設を望むものです。」となっているが、それぞれその土地を希望する理由を具体的に記載してもらいたい。

○検討委員会で協議されている内容について町民への周知や理解が不足していると感じており、答申にあたっては、町民への説明とそれに対する意見を加味するのが大切だと思う。特に若い世代の方々の関心が低いと感じており、知らないところで決まってしまうと、後々問題になってしまうことを憂慮している。

○前回の会議録を見て、素晴らしい議論ができていると思う。

○「文化センターTOM 付近にストーリー性を持って庁舎建設等を行っては。」という意見について、もし庁舎と町民にとって利用価値の高いコミュニティ施設を含む建物を検討するのであれば、これからのまちづくりに変化をもたらすと思う。ただ、この委員会では、あくまで「庁舎の集約化」、「改築または新築」と「新築の場合はどこに建設するか」を議論する場であるため、これからのまちづくりについては踏み込めないと思う。

そもそも役場は、町民とともにまちづくりや企画運営をともに考えていく場所であって、新庁舎を町のシンボリックに扱うのはおかしい話だと思う。また、そのようなまちづくりをする市町村は、あまり聞いたことがない。

町民の利便性を深めたまちづくりのためにも文化センターTOM 周辺にという考えを持つ委員さんは、立場上、そのように考えるのは理解できる。しかし、かつて上湧別町が屯田市街地に庁舎を建て町民の利便性や活気をもたらしたかという、決してそうではなかったと思う。

今回、意見としてあがった文化センターTOM 周辺はこれからのまちづくりには重要な場所であると感じており、この場所は、庁舎以外のまちづくりの課題に対して活用を検討していくべきではないだろうか。

私自身、旧湧別駅前通りのかつての中心地に63年住み続けている。自宅の2階に茶の間があり、そこから外を見渡した時に見える建物は昨年まで12軒あったが、すべて人の住んでいない廃墟になっている。1軒は廃業した牛舎、4軒は既に取り壊され更地になり、時代の流れと寂しさを痛感している。

今まで議論を重ね、二町が合併した湧別町の中心地である中湧別地区に庁舎を求めることは必然であると思う。私自身、中湧別小学校跡地を第一候補と考えているが、平成30年に策定された湧別町公共施設再配置実行計画によると、平成30年以降、施設面積を40年間で40%、10年間で10%削減することを目標としているならば、何かを削っていかなければならない。

この計画を重視するならば、旧湧別出身の私の「思い」ではあるが、防災面を

クリアすることができるならば、駐車場の面積を確保できる現在の湧別庁舎等を取り壊して、その場所に新庁舎を建築してはという思いはある。

○他の委員の意見を聞き、これまで協議をしてきた私たちはこの答申案になった経緯は分かるが、やはりその経緯を文字にしなければ、会議に参加していない方々には分からないことだと気づかされた。

委員会でも協議しなければならなかったことは、この答申案に上手くまとまっているので、これで答申をできたらと思う。

○他の委員から意見があったが、この議論が行われていることについて、若い世代を中心として認識されていないことが気になっている。

広報12月号でこの会議の経過報告を行ったが、自分の周りでは意外と見ていない人が多いと感じている。また、冒頭に紹介のあったまちづくり懇談会における意見、そして懇談会に参加している人数を聞くと、庁舎の今後について議論している状況がまだまだ浸透していないと感じた。

このことから、町民の意見を聞きたく、次回会議までに広報やHPなどで再度周知を図り、意見等を募ってみたい。

→事務局) まちづくり懇談会は検討委員会の状況を報告するために開催しているのではなく、町長と各地域の課題等について意見交換をするために開催しているものであることをご理解いただきたい。

これからの進め方は、次回の町長への答申後、その答申を受けて町の方向性を定めた後に、町民や議会に説明を行い、その際にそれぞれから意見を伺うこととなる。開催にあたって、広く周知はするが、若い世代の参加者を増やすためにも委員の皆様方からも参加の呼びかけをしていただきたい。

○その他

答申案の「上湧別地区義務教育学校開校後に閉校となる中湧別小学校跡地に建設を望むものです。」を「上湧別地区義務教育学校の開校に伴い閉校となる中湧別小学校跡地に建設を望むものです。」に修正。

③その他

次回会議日程は後日調整することとなり、その際に本日の意見をもとに整理した答申(案)を確認いただくこととなった。

(4) 閉 会